

P8310592.JPG 2020/05/20

慶応二年五月八日より慶応二年五月十一日まで

P8310592 right

御宅へ出御直に建言退出薄晩に近し、礪川へ持宅賀として妻儀是表襖紙
鮎等持参せし旨、屋敷改西尾へ謝儀を為持周助使者に遣す、松盛斎稽古に来る旨、長蔵
柄色見本合口形絵持参せし旨、屋敷改西尾へ謝儀を為持周助使者に遣す、

十二日 午 雨意終日

第七時出宅九時濟海寺(*)に至り仏ロセスに引合う普請地所の義、本国ミニストルより官便の咄
等有之、夫より出 殿右引合の趣建白す、藤山稽古に來りし旨、保三來る夕飯を出す、正覺來り
須寄村抱屋敷へ移居いたし旨申し聞る、此抱屋敷買入世話謝として二方遣す、
十三日 未 濃陰午下雨意

長蔵來る、柄色見本を返し、卷方命遣す、栗本(藝) 文通持参、小野(市) 初て來たり面す、村
井(久) 來り

P8310592 left

面す、御借米手形条文添為持遣す、出 殿伯耆守殿御宅にて改税約書へ和泉守殿、仏英蘭調印為
取替有之、仏は欠席、右へ相廻り薄晩帰宅、垣屋義助より驚(あひる) 一羽贈り來る過日□
某の紹介申入の謝也、柳斎稽古に來る、抱屋敷家屋修復料廿五円托す

十四日 申 陰夕前雨

垣屋(義) へ此の返書遣し急須箱入を酬う、村山○ 初て來り面す、劣礪姑來り鶏卵□の月等
を贈らる、番町隠居□為長を伴い來る、蒸菓子一折持参(婢使)、坂田叔母□老酒一壘菓子少許
持参、妻義次郎を伴い□久両家家族を誘い右三家の面々一同向島屋敷へ船にて

行く須崎一族をも招待する積り也、出 殿、和泉守殿より英ハークスへ御金事情御談の義に付、
御談有之、猶明日も御談有之旨、江連賀州近々出勤の旨にて鰻鱈許多贈り來る、良造

* 濟海寺 (港区三田、フランス総領事館)

()内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が見え無い等です。